



# 横浜市立恩田小学校 学校だより 12月号

発行 令和2年12月1日

恩田小学校  
HP⇒



## 「誰か」のことじゃない。 ～人権週間の取組～

校長 古屋 澄人

11月の授業公開は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため体育館での実施としました。学年によっては、体育だけでなく理科や音楽、図工、生活の授業の様子を見ていただきました。保護者の皆様には、制限がある中での参観にご協力いただきありがとうございました。  
＜校内人権掲示板＞

さて、日本では1949年(昭和24年)から毎年12月10日を最終日とする1週間(12月4日から12月10日まで)が、「人権週間」として定められています。

恩田小学校では11月24日～12月4日までを人権週間としています。「だれもが」「安心して」「ゆたかに」生活できる学校をめざして、一人ひとりの違いを認めたり、自分や友達の良いところを見つけたり、それぞれが大切な存在であることを知ったりすることを目的として、次の3つのことについて各学年で取り組んでいます。



### ① 【自分の好きなのところはどんなところか考えてみよう】

みんなは自分のどんなところが好きですか。読書が大好きなところ、絵が上手なところ。自分自身の良いところをたくさん見つけられたら、きっと自分のことがもっと好きになれます。

### ② 【友達の好きなのところってどんなところがあるか考えてみよう】

友達の良いところはどんなところですか。いつも優しいところ。話をしっかり聞いてくれるところ。友達の良いところをたくさん見つけられたら、その友達のことがもっと好きになるし、きっと友達もうれしいはずです。

### ③ 【自分と友達の違うところってどんなところか考えてみよう】

みんなは良いところ、すてきなところをたくさんもっています。それを「個性」といいます。みんなそれぞれ違うところを認め合いながら、自分や友達の良いところをたくさん見つけられるといいです。

今年の人権週間の合言葉は『「誰か」のことじゃない。』です。人権を大切にすることというのは、一人ひとりが生まれた時から持っている「自分らしく生きる」「自分を大切にすること」。そして、自分も友達も一人ひとりが違うことを知り、「周りの人のことを大切にすることだ」と思います。コロナ禍の中、人権意識を一層高めて一人ひとりを大切にすることを考える12月にしていきたいと思います。